

米販売動向調査について（全米販）（令和7年3月分）

1. 回答数 60 会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年3月（令和6年3月）と比べた令和7年3月の米販売動向

「減った」と「やや減った」の回答を合わせると6割になる。

Q3：3か月前（令和6年12月）と比べた米販売動向

「悪くなっている」と「やや悪くなっている」を合わせた回答数が「良くなっている」と「やや良くなっている」の回答数を上回り、DI値は「39.2」。

Q5：3か月先（令和7年6月頃）の米販売動向見通し

「やや悪くなる」が4割と最も多く、「悪くなる」と合わせると5割になり、DI値は「38.8」。

3. 集計結果

Q1：昨年3月（6年3月）と比べた令和7年3月の米販売動向

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
60	10	6	8	7	29
100.0%	16.7%	10.0%	13.3%	11.7%	48.3%

Q3：3か月前（6年12月）と比べた米販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
60	10	9	9	9	23
100.0%	16.7%	15.0%	15.0%	15.0%	38.3%

DI値
39.2

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
32.1	46.3	37.5

Q5：3か月先（7年6月頃）の米販売動向見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
60	2	11	15	22	10
100.0%	3.3%	18.3%	25.0%	36.7%	16.7%

DI値
38.8

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
48.2	40.0	32.7

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（7年3月）の米販売動向（6年3月との比較）

- 値上げ、数量調整のため大幅に減った。
- 調達が思うようにいかないので小売では販売を抑制し、お米が無くならないようにしている。
- 外国産米を使用する取引先が増えたことにより、納入が無くなったところがある。

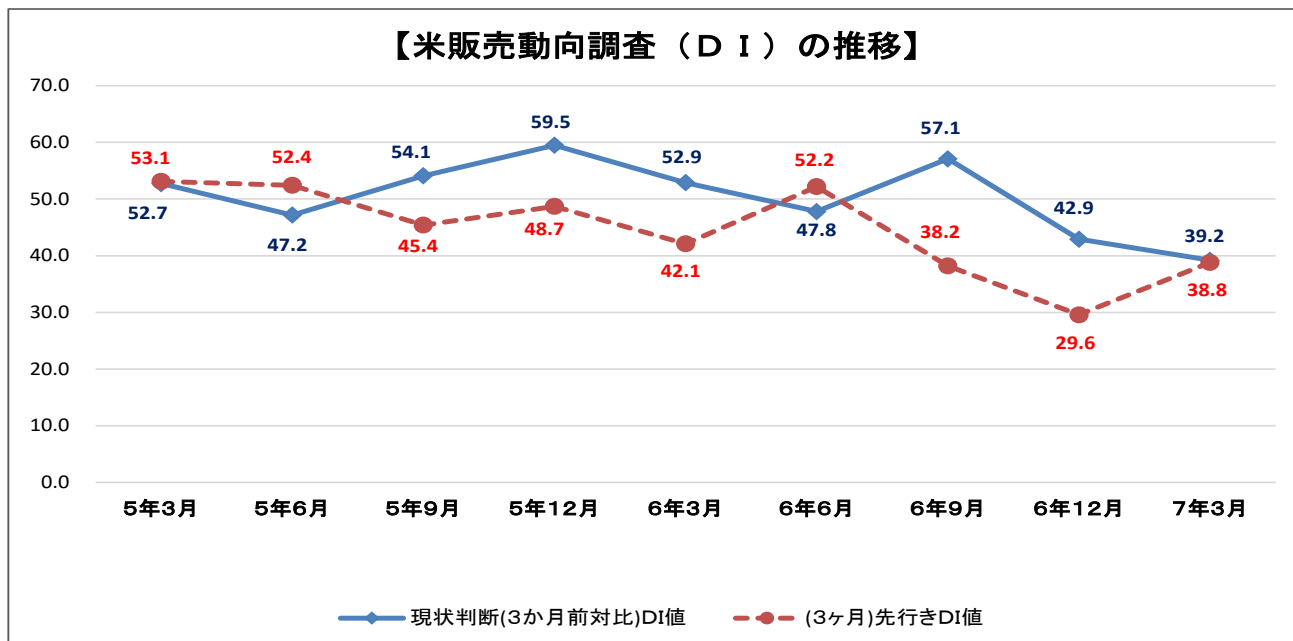
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- 変わらないと回答しているが、正確には売るものが無い。
- 12月は外食の需要期であることから3月からは減少しているが、通年でみると大きな変動はない。
- 昨年度よりさらに仕入状況が悪化しているため2月より白米、玄米ともに数量を制限し、販売は大幅に減少。

Q5：将来（3か月後）の動き

- 備蓄米の放出もあり、精米供給に関しては同等で推移できるかもしれないが、引き続き玄米販売の余力はなく、全体としては落ち込むことが想定される。
- 新規の問い合わせ及び既存からの受注量は増加すると思われるが、原料次第では出荷調整・制限をせざるを得ない状況になる。
- 現在でも在庫はひっ迫しており、備蓄米の入荷の有無にもよるが、3か月後はさらに悪化すると思う。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年3月（6年3月）と比べた令和7年3月の米販売動向

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	10.3	15.4	12.8	17.9	43.6
中小スーパー	100%	13.8	10.3	20.7	19.0	36.2
米穀専門店	100%	5.8	9.6	15.4	25.0	44.2
その他	100%	15.6	2.2	17.8	4.4	60.0
(外食産業向け)						
外食向け	100%	8.8	14.0	43.9	24.6	8.8
中食向け	100%	5.3	14.0	42.1	21.1	17.5
給食向け	100%	9.1	3.6	61.8	14.5	10.9

Q4：3か月前（6年12月）と比べた米販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	5.1	10.3	41.0	25.6	17.9	39.7
中小スーパー	100%	6.9	17.2	31.0	20.7	24.1	40.5
米穀専門店	100%	1.9	9.4	30.2	26.4	32.1	30.7
その他	100%	6.7	11.1	22.2	17.8	42.2	30.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	12.5	51.8	17.9	17.9	39.7
中食向け	100%	3.5	8.8	45.6	26.3	15.8	39.5
給食向け	100%	0.0	3.6	69.1	18.2	9.1	41.8

Q6：3か月前（7年6月頃）の米販売動向見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	5.1	25.6	28.2	23.1	17.9	44.2
中小スーパー	100%	3.4	20.7	27.6	31.0	17.2	40.5
米穀専門店	100%	1.9	11.3	34.0	28.3	24.5	34.4
その他	100%	2.3	6.8	38.6	22.7	29.5	32.4
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	12.7	61.8	21.8	3.6	45.9
中食向け	100%	3.5	15.8	54.4	15.8	10.5	46.5
給食向け	100%	1.8	5.4	67.9	12.5	12.5	42.9

*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				